

脱走半島／ベトナム 1983 (1989)

A CASE OF HONOR

メディア 映画

ジャンル アクション

製作国 アメリカ

時間 87分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

ベトナムのジャングルを舞台に、いまだに捕虜になっている米軍兵士たちがオンボロ飛行機を使って脱走を図る過程を描いた低予算アクション作品。ベトコンの捕虜として強制労働に明け暮れていた米軍兵士たちに、突然シベリア送りになる事が言い渡される。しかしその夜、以前から脱走の計画を練っていたケース（ボトムズ）は“これが最後のチャンス”と計画の全容を明かさぬまま5人の仲間と共に脱走を図る。そして途中、物資調達のために押し入った売春小屋で出会った娼婦たちをヒョンなことからお供にした彼らはケースが目指すジャングルのとある場所によく辿り着く。そこにはケースが以前乗っていて不時着したプロペラ飛行機が隠してあり、彼はその機を使ってフィリピンへ逃げようと言うのだ。しかしその飛行機は肝心のプロペラや車輪が破損している有り様で……。名作「飛べ！フェニックス」のアイデアをパクったまでは良かったが、笑い（それも辛うじてT・ボトムズ演じる主人公が神を崇拝する奇妙なヤツというところが笑えるのみ）やお色気路線などを中途半端に盛り込んだおかげで脱走劇に不可欠の緊迫感は全く無い。追手との銃撃戦などに至っては“戦争ゴッコ”以下という間延びした展開がだらだらと続く有り様だ。

【クレジット】

監督	エディ・ロメロ	Eddie Romero
製作	D・ハワード・グリグスビー	D. Howard Grigsby
	ロペ・V・ジュバン	Lope V. Juban
製作総指揮	アントニー・I・ギネイン	Antony I. Ginnane
脚本	ウィリアム・ヘリンジャー	
	ジョン・トレイン	John Trayne
撮影	ジョー・バタック	Joe Batac
音楽	ウィリアム・モツィング	William Motzing
出演	ティモシー・ボトムズ	Timothy Bottoms
	ジョン・フィリップ・ロー	John Phillip Law
	キャンディ・レイモンド	Candy Raymond
	ニック・ニコルソン	Nick Nicholson
	スティーヴン・ロジャース	